

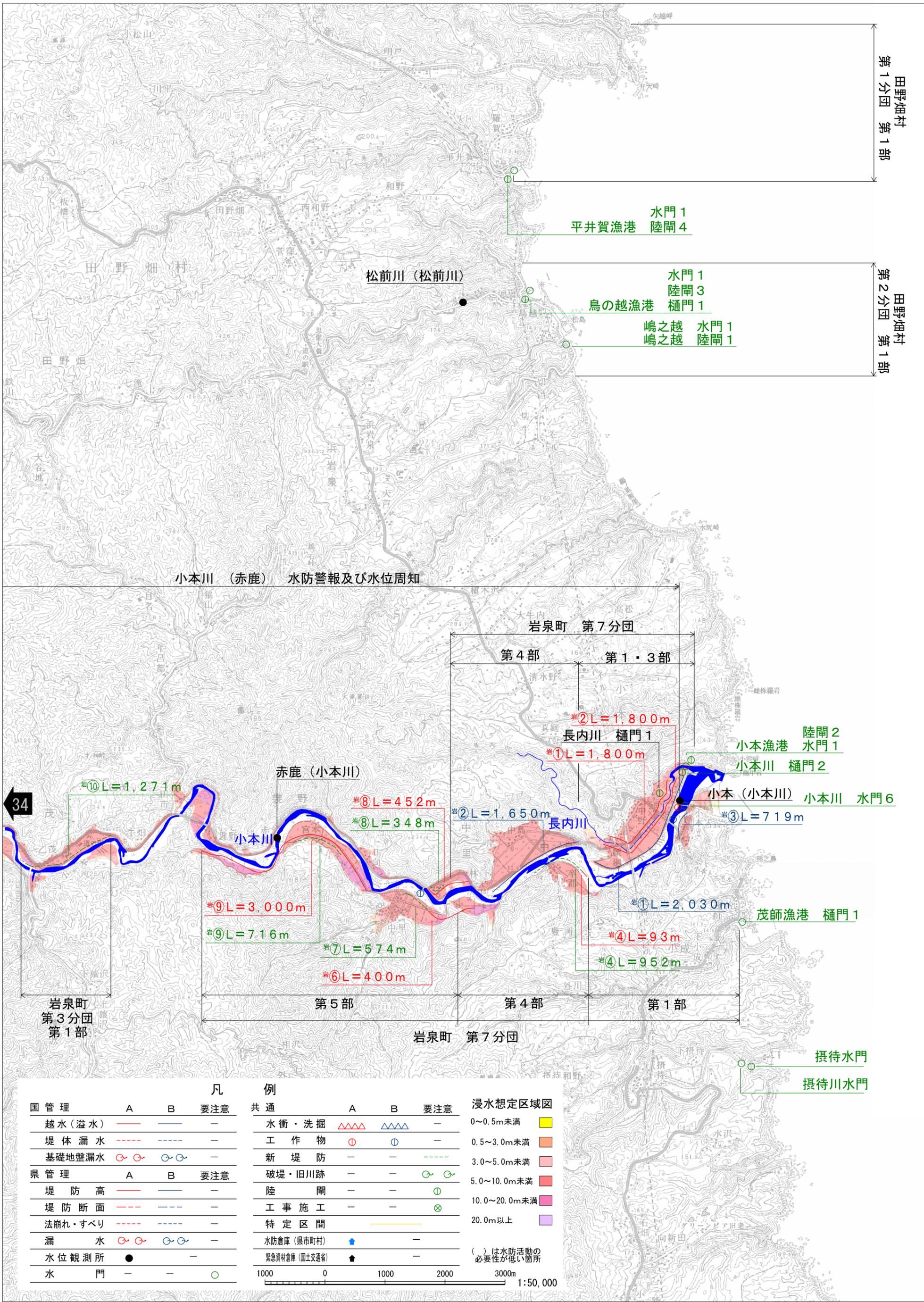
令和 7 年 度

岩手県主要河川重要水防箇所図
(岩泉土木センター管内)

岩 手 県

注意事項

原則として令和7年1月1日時点の情報を記載しています。



田野畑村
第1分団 第1部

田野畑村
第2分団 第1部

水門1
陸閘4
平井賀漁港

水門1
陸閘3
樋門1
鳥の越漁港

水門1
陸閘1
嶋之越

小本川 (赤鹿) 水防警報及び水位周知

岩泉町 第7分団

第4部 第1・3部

長内川 樋門1
#2 L=1,800m
#1 L=1,800m

陸閘2
水門1
小本漁港
小本川 樋門2

小本 (小本川) 小本川 水門6
#3 L=719m

赤鹿 (小本川)

#8 L=452m
#8 L=348m

#10 L=1,271m

#9 L=3,000m
#9 L=716m

#7 L=574m
#6 L=400m

#2 L=1,650m

#1 L=2,030m
#4 L=93m
#4 L=952m

茂師漁港 樋門1

岩泉町
第3分団
第1部

第5部

第4部

第1部

岩泉町 第7分団

摂待水門

摂待川水門

凡		例		要注意
A	B	A	B	
国管理				
越水 (溢水)	—	—	—	—
堤体漏水	—	—	—	—
基礎地盤漏水	—	—	—	—
県管理				
堤防高	—	—	—	—
堤防断面	—	—	—	—
法崩れ・すべり	—	—	—	—
漏水	—	—	—	—
水位観測所	●	●	●	—
水門	○	○	○	—

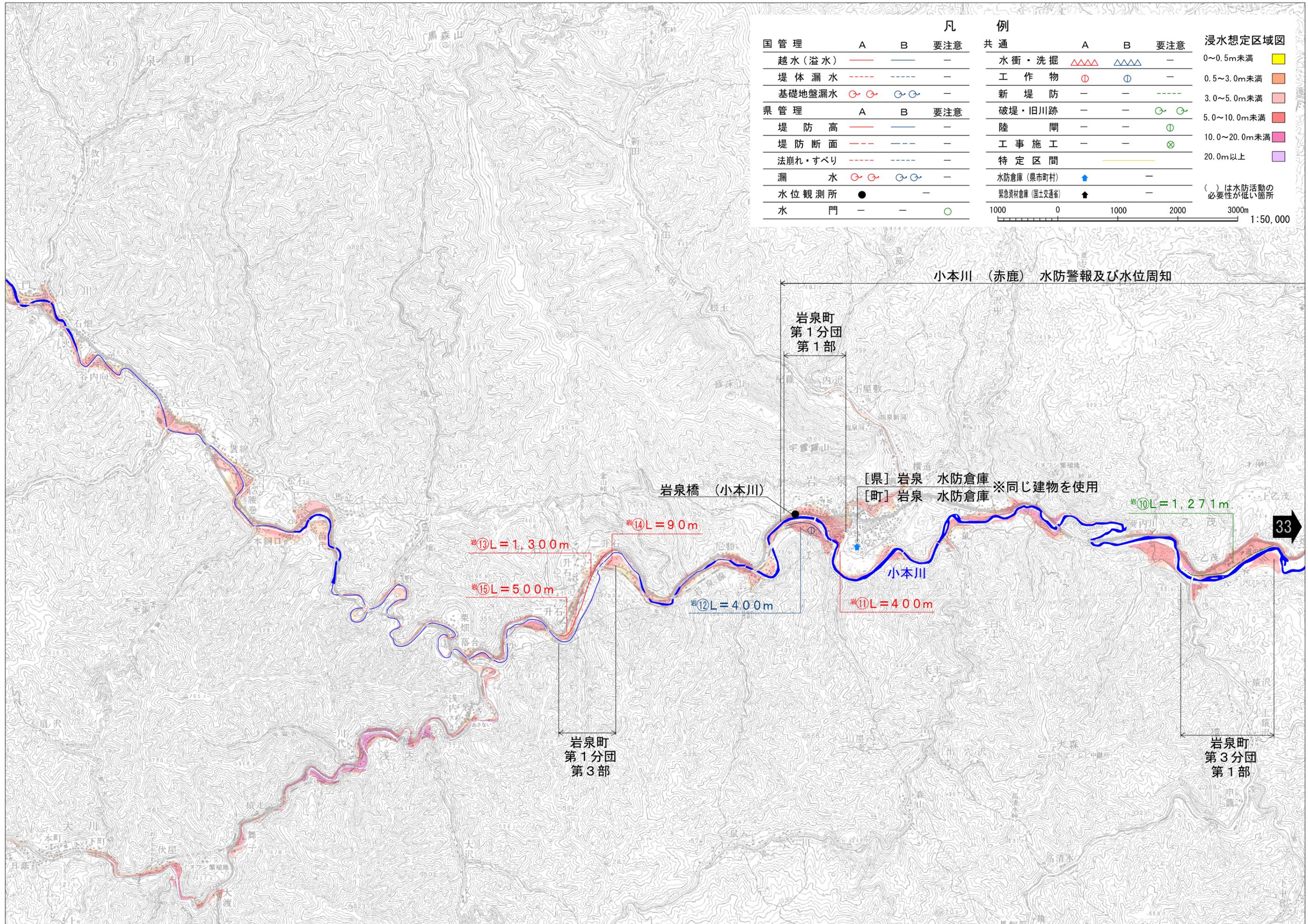
凡		例		要注意
A	B	A	B	
共通				
水衝・洗掘	△△△	△△△	△△△	—
工作物	○	○	○	—
新堤防	—	—	—	—
破堤・旧川跡	—	—	—	—
陸閘	—	—	—	—
工事施工	—	—	—	—
特定区間	—	—	—	—
水防倉庫 (県市町村)	▲	▲	▲	—
緊急資材倉庫 (国土交通省)	▲	▲	▲	—

浸水想定区域図	色
0~0.5m未満	黄色
0.5~3.0m未満	オレンジ
3.0~5.0m未満	赤
5.0~10.0m未満	赤紫
10.0~20.0m未満	紫
20.0m以上	黒

() は水防活動の
必要性が低い箇所



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 令1東環、第5号)」



		凡 例				
国 管 理		A	B	要 注 意	共 通	
越水(溢水)	—	—	—	—	水衝・洗掘	△△△△ △△△△
堤体漏水	---	---	---	---	工 作 物	⊕ ⊖
基礎地盤漏水	⊙ ⊙ ⊙ ⊙	⊙ ⊙ ⊙ ⊙	—	—	新 堤 防	---
県 管 理		A	B	要 注 意	破堤・旧川跡	— ⊙ ⊙
堤防高	—	—	—	—	陸 閘	— ⊕
堤防断面	---	---	---	---	工 事 施 工	— ⊗
法崩れ・すべり	---	---	---	---	特 定 区 間	—
漏 水	⊙ ⊙ ⊙ ⊙	⊙ ⊙ ⊙ ⊙	—	—	水防倉庫(県市町村)	▲
水位観測所	●	—	—	—	緊急資材倉庫(国土交通省)	▲
水 門	—	—	○	—		

浸水想定区域図	
0~0.5m未満	■
0.5~3.0m未満	■
3.0~5.0m未満	■
5.0~10.0m未満	■
10.0~20.0m未満	■
20.0m以上	■

() は水防活動の
必要性が低い箇所

1000 0 1000 2000 3000m
1:50,000

小本川 (赤鹿) 水防警報及び水位周知

岩泉町
第1分団
第1部

岩泉橋 (小本川)

[県] 岩泉 水防倉庫 ※同じ建物を使用
[町] 岩泉 水防倉庫

⑬ L=1,300m

⑭ L=90m

⑮ L=500m

⑫ L=400m

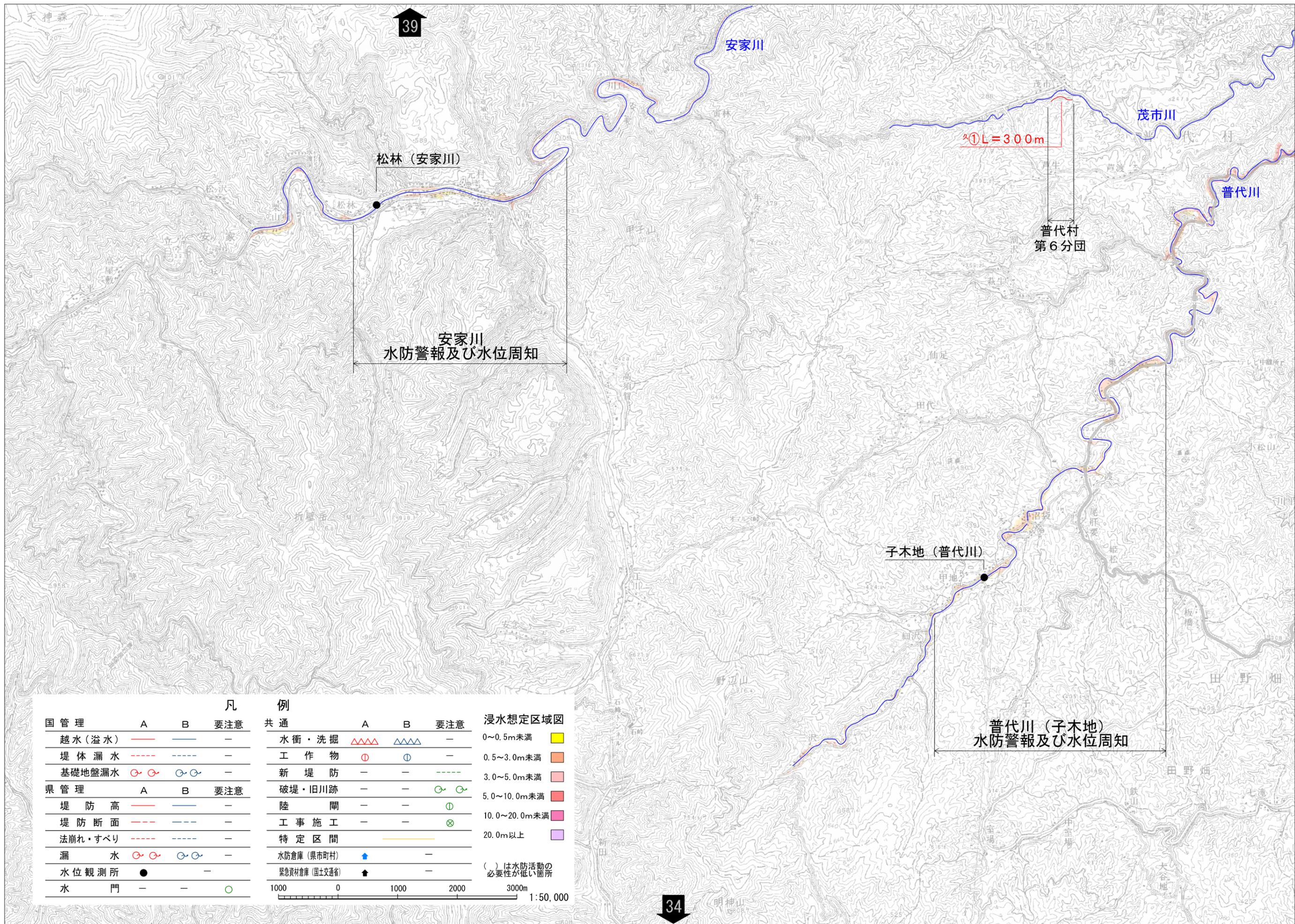
⑪ L=400m

⑩ L=1,271m

岩泉町
第1分団
第3部

岩泉町
第3分団
第1部





凡		例		浸水想定区域図
国管理	A B 要注意	共通	A B 要注意	
越水(溢水)	— — —	水衝・洗掘	▲▲▲▲ ▲▲▲▲	0~0.5m未満
堤体漏水	— — —	工作物	① ②	0.5~3.0m未満
基礎地盤漏水	①② ③④	新堤防	— — —	3.0~5.0m未満
県管理	A B 要注意	破堤・旧川跡	— — ⑤⑥	5.0~10.0m未満
堤防高	— — —	陸閘	— — ⑦	10.0~20.0m未満
堤防断面	— — —	工事施工	— — ⑧	20.0m以上
法崩れ・すべり	— — —	特定区間	— — —	() は水防活動の 必要性が低い箇所
漏水	①② ③④	水防倉庫(県市町村)	▲ —	
水位観測所	● —	緊急資材倉庫(国土交通省)	▲ —	
水門	— — ⑨			

1000 0 1000 2000 3000m 1:50,000

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 令1東複、第5号)」